

講義名	対)ブラッシュアップ中国語			
担当教員	森 宏子			
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考
主題と概要				
すでに「言語と社会」、「中国語A」、「中国語B」などで学んだ初歩の中国語にみがきをかけ、さらに新しい語彙や文法を積み重ね、中国語の基礎をよりまとまりのあるものに仕上げていきます。レベル的には、中国語の初級から中級への橋渡しの位置づけになります。会話だけでなく講義の内容もありますので、中国語の総合的なレベルアップが期待できます。				
到達目標				
1．平易な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができるようになる 2．平易な文の意味を理解でき、書くことができるようになる 中国語検定試験のレベルを目安とすると、4級レベルの中国語に相応します。検定試験4級にチャレンジできる力をつけます。 本科目は対面を原則とする科目です。オンデマンドでの受講では、到達目標を達成するのが難しい科目であるため、オンデマンドでは開講しません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者や、濃厚接触者に指定され一時的に通学が禁止となった学生には、別途個別に対応します。				
提出課題				
とくに課題は予定していません。				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
出席確認を兼ねて小テストを行うことがあります。小テストは返却しませんが、次回の授業で講評します。 中間試験は返却した上で、講評します。				
評価の基準				
次の点を総合的に判断します 平常点（出席状況、受講態度） 20％ 中間試験と期末試験 80％				
履修にあたっての注意・助言他				
この科目は、これまでに「言語と社会」、「中国語A」、「中国語B」などを履修し、すでに中国語の基礎を学んだ人を対象としています。中国語初心者向けの授業ではありませんので注意してください。中国語がはじめての人にはまず「中国語A」や「中国語B」を履修してください。 受講者は必ずテキストを購入し、授業に臨んでください。				

教科書

.さあ、中国語を学ぼう！ 会話・講義.	白水社	竹島毅・趙昕	2500＋税	978-4-560-06934-9

プリント資料及び参考文献

必要に応じて配布します。

授業計画

1. ガイダンス、既習事項の振り返り

2. 第6課 会話：授業は終わりましたか？

3. 第6課 講義：カラオケ

4. 第7課 会話：ご飯、食べましたか？

5. 第7課 講義：海へ行く

6. 第8課 会話：富士山に登ったことはありますか？

7. 第8課 講義：北京がすき

8. 第9課 会話：何をしているのですか？

9. 第9課 講義：運転を学ぶ

10. 第10課 会話：どんな趣味をおもちですか？

11. 第10課 講義：コンパ

12. 第11課 会話：このくつはどうですか？

13. 第11課 講義：アニメ

14. 第12課 会話：誕生日おめでとう！

15. 第12課 講義：贈るもの

予備：13課、14課、15課

授業の進度は、1.5回～2回で1課を消化するペースを基本とします。学期半ばで、中間試験を実施します。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A～I型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】

新しい課に入る時は、事前に単語帳（ワークシート）を配布します。単語帳を自宅で完成させてください。
次の授業で学ぶところに目を通し、分かることと分からないところを、明確にしておいてください。
テキスト付属のCDを聞き、ピンインと実際の音を聞き比べてください。
可能であれば、課文を音読してみる。
（以上、2時間程度）

【復習】

授業で学んだところを自宅でもう一度「振り返り」を行ってください。
ドリルなどの宿題をします。今回学んだポイントの定着を図ります。
課文のピンインを手書きし、ピンインを紙で覆えます。
テキスト付属のCDを聞きながら、課文を読みます。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

中国語の4技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を習得するとともに、中国の社会や文化について理解する資質・能力を身につける。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考